

「令和4年度福島県産農産物等流通実態調査」

報告書

令和5年3月

農林水産省

(目次)

序 事業概要と本資料の構成	1
1 調査結果の全体像	7
2 福島県産品の取扱いを拡大するためのマーケティング実証調査	35
3 水産物の試験操業終了後の漁獲動向に関する調査	61
4 アンケート調査による実態把握	91
5 福島県産品のブランド力の測定	165
6 品目別調査結果 米	189
7 品目別調査結果 牛肉	231
8 品目別調査結果 桃	263
9 品目別調査結果 あんぽ柿	295
10 品目別調査結果 ピーマン	323
11 品目別調査結果 ヒラメ	353
12 品目別調査結果 その他の品目	383
(参考) 県産品重点 6 品目の出荷量と価格	567

序 事業概要と本資料の構成

事業概要

- 事業名
 - 令和4年度福島県産農産物等流通実態調査委託事業
 - ・ 平成29年度から実施している事業である。

- 事業目的
 - 本事業では、福島県の農林水産業の再生に向けて福島県産農産物等の販売不振等の実態と要因を明らかにし、主要品目別に生産から流通・販売に至るサプライチェーンの各段階における流通実態の調査及び分析を継続的に実施するとともに、福島県産品の取扱拡大に向けた方策の調査等を実施し、その結果を今後の施策の検討に活用する。

3

事業概要

- 事業内容
 - 調査及び分析の実施
 - ・ 事業者に対するヒアリングとアンケート、消費者に対するアンケート、事業者が保有するデータの収集、政府統計等の公的データの収集を行った。
 - ・ また、令和2年度に調査した福島県産品と他県産品での価格差の固定化の問題を踏まえ、福島県産品の取扱いを拡大するためのマーケティングの実証調査を行った。
 - ・ さらに、水産物の試験操業終了後の操業拡大を見据えて、漁業者の今後の漁獲意向や流通業者の受入意向、県内産地における水産資源の状況等についてヒアリングを行った。
 - ・ これらの調査により、福島県産品の流通量・取引価格・流通経路といった流通実態等を把握するとともに、課題の解決に向けた分析を行った。

 - 検討会の開催
 - ・ 客観的で信頼性の高い調査を実施するとともに、効果的・効率的な取りまとめを行うために、検討会を開催した。
 - ・ 検討会には、学識経験者、実務家、農林水産省、復興庁、経済産業省、福島県が参加した。

4

本資料の構成

- 本資料は、以下の構成により作成されている。

章No.	章タイトル	概要
1	調査結果の全体像	本事業の要点として、主に第2章から第5章の内容について、ポイントをまとめた。
2	福島県産品の取扱いを拡大するためのマーケティング実証調査	小売店頭における販売促進策の実証調査を行い、今後の福島県産品の取扱拡大に向けた検討を行った。
3	水産物の試験操業終了後の漁獲動向に関する調査	水産物の漁獲量の変化や、それに伴う価格の動向、今後の漁獲に関する意見等について、事業者ヒアリングを行い実態を把握した。
4	アンケート調査による実態把握	消費者、事業者、生産者のそれぞれに対して、福島県産品の生産状況や取扱状況、仕入時や購買時における重視点等についてアンケート調査を行い結果を分析した。

5

本資料の構成

章No.	章タイトル	概要
5	福島県産品のブランド力の測定	福島県産品の価格回復に向けて重要と考えられるブランド力について、その構造と実態を把握し、改善の方向性を検討するためにアンケート調査と分析を行った。
6～11	品目別調査結果(重点6品目)	重点6品目(米、牛肉、桃、あんぼ柿、ピーマン、ヒラメ)について、公的データを整理するとともに、追跡調査による価格形成の分析等を記載した。
12	品目別調査結果(重点6品目以外の19品目)	福島県産農産物等19品目について、公的データを整理するとともに、消費者アンケートの結果を記載した。

6